

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2019年 12月 28日

はい→①、どちらともいえない→②、いいえ→③、わからない→④

事業所名：さくらんぼキッズfam

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	集団活動時には椅子や用具を片付けて、動きやすいスペースを確保するようにしています。	①33名、②7名、③1名、④6名 ・もう少し広さは欲しいが限られたスペースできちんと取り組んでくれている。 ・活動内容によっては少し狭く感じる。	スペースに応じた利用人数になるように注意してまいります。
	2 職員の適切な配置	午前は極力子ども1人に対し職員1人になるように、午後は子ども2(～3)人に対し職員1人体制になるように配置しています。午後でも、個別対応が必要なお子様には職員を1人配置するよう注意しています。	①35名、②4名、③0名、④8名 ・多くのスタッフに対応いただいている。 ・先生の人数は十分だと思う。 ・言語トレーニングもあり、毎回楽しみにノートを開いている。 ・事務対応、電話対応の人が別にもう一人いたほうが良いと思う。	指定基準を満たした職員配置となっております。職員の専門性をより高めていきたいと思っております。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	絵カードやイラスト等を使用し視覚情報を増やしています。	①34名、②0名、③0名、④14名 ・他の施設を見たことがないので、どこまでが配慮かわからない。	日々検討し、整備していきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日事業所の清掃・消毒・安全確認を行っています。	①41名、②2名、③0名、④3名	今後も継続して行います。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	支援方法や活動内容について、毎回職員間で話し合い、振り返り、改善に向けて見直しを行うように心掛けています。		今後も継続して行います。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者による外部評価については、現在実施予定はございません。		必要に応じて実施します。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	社内研修、外部研修の受講を勧めています。研修を受けた職員が他の職員にフィードバックを行っています。		今後も継続して行います。
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	太田ステージ等でお子様の現状を評価し、面談や連絡帳で保護者様・お子様のニーズを把握し、個別支援計画に反映させています。	①43名、②2名、③0名、④1名 ・計画はいつも面談の時に相談している。	今後も継続して行います。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	身辺自立に向けた内容や個々の課題を個別活動に、社会性に関する内容を集団活動として相互に効果が出るよう組み合わせ計画を作成しています。		今後も継続して行います。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	目標達成するための具体的な内容と支援方法を記載するように心掛けています。	①44名、②1名、③1名、④3名 ・支援内容は適切だと思う。	職員間で個々に応じた項目の検討をし、具体的でより分かりやすい記載にしています。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員が個々の支援計画を周知し、支援計画に基づいた個別課題の提供や在所中の支援を行うよう徹底しています。	①43名、②1名、③1名、④3名	現状と支援内容、方法とをこまめにチェックし、適宜見直しを行っています。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	活動プログラムは週替わりで大きく決めています。その上で毎日職員で様々な資料などをもとに話し合い、その日のクラスに合わせた具体的な活動を立案しています。		今後も継続して毎回職員間で話し合いを行います。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	幼稚園の長期休暇中は、制作や身体を動かす活動を多めに取り入れています。		今後も継続して行います。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	活動プログラムは週替わりですが、毎回職員で話し合い、その日の各クラスに合わせた活動を立案しています。夏祭りやハロウィン、クリスマス会など季節に合わせた活動も行っています。	①37名、②2名、③1名、④7名 ・毎回違うことをしているので、子どもも飽きずに楽しんでいる。 ・連絡帳でたくさんの活動をしていることがわかる。	見直しや振り返りを行い、活動に変化を持たせていきます。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	午前、午後の毎回、職員間で確認を行っています。		職員間での意思統一と情報の共有化を図ります。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	午前、午後の毎回終了時に振り返りと気付いたこと、気になることを話し合い、決定事項等をその場にいない職員に申し送りを行っています。		今後も継続して職員間での意思疎通と情報の共有化を図ります。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個別支援計画の内容を意識しながら客観的に記録するようにしています。他の職員が読み返し、疑問があれば確認しています。		正確な記録の徹底を職員に徹底するよう努力します。
	11 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	年に2回(前期・後期)、定期面談を行っています。それ以外の時期でも、希望があれば適宜面談を行い、支援計画の内容について話し合い、見直しを行っています。		支援計画がお子様の実状に沿ったものであるか、見直ししていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	児童発達支援管理責任者とお子様の指導を担当する職員とで参画することが多いです。	積極的に会議に参加し、他事業所との連携を図りたいと考えています。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保護者様の許可をいただいて、支援計画や当事業所の連絡帳を保育所、幼稚園と共有しています。また、就学先の小学校からお問い合わせがあれば情報提供できるようにしています。	今後も継続して行います。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、			
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	職員間で研修の情報を共有し、希望者には参加できるような体制を整えるよう努力しています。	今後も継続して行います。	
	7	児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現時点では交流の機会を設けていません。	①3名、②5名、③9名、④24名 ・そういった機会があるのか尋ねたことがない。 ・うちの子は保育所に通っているが、他の子の場合にはわからない。	今後検討します。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現時点では地域の住民の方々を招待するような行事の予定はありません。		今後検討します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に重要事項説明書、運営規定の読み上げを行い、支援内容や利用者負担等について説明しています。	①42名、②4名、③0名、④1名	今後も継続して行います。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	面談時に支援計画やお子様の現状についての説明を行っています。	①41名、②2名、③1名、④3名	今後も継続して行います。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	面談等でご相談を受けた際には、個々に対応させていただいています。	①13名、②10名、③7名、④17名 ・どういった家族支援プログラムがあるか知らない。	今後検討します。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎時にお子様のその日の様子をお伝えするようにしています。	①38名、②5名、③0名、④4名 ・連絡帳や口頭で伝えられていると思う。 ・ことばの遅れに対する不安はいつになってもなくなり、どうしたら良いか心苦しい。 ・ノート以外も送迎時でも様子を教えてくれるので安心している。	今後も継続して行います。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	困りごとなどご相談があった際には、その都度助言や提案をしています。	①38名、②5名、③1名、④5名 ・仕事をしているので、なかなか先生と直接顔を合わせることがないが、ノートを通して相談にのってもらい、アドバイスをもらって助かっている。 ・面談とか時間をかけてもらっているので大丈夫。 ・育児に関する助言をされても、それを実際にやる元気がない。保護者は皆疲れている。 ・先生方の言葉に励まされている。	面談は、年2回以外にもご要望があればその都度対応していることをお便りなどで知らせます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在は保護者会はありません。	①2名、②6名、③17名、④22名 ・保護者会等に参加したことがない。	今後検討します。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情・相談窓口を設置し、申し立てできる体制にしています。また、要望や苦言があった際には迅速に対応するように心掛けています。	①33名、②6名、③0名、④8名 ・困った時に相談にのってもらい、感謝している。	保護者様からの苦情に関わらずご意見をいただいた際には、迅速に対応するように心掛けていきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	お子様には視覚情報を併用しながら簡潔に伝え、一人一人と向き合う体制を整えています。保護者様にはお便りや連絡帳等で情報を伝達しています。	①43名、②3名、③0名、④1名	今後も継続して行います。



区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	ホームページが新規開設されたのを機に、2019年11月からブログを発信しています。まだ記事数が少ないので、今後増やしていく予定です。	①16名、②9名、③2名、④20名	イベントの手紙での事前告知や、ブログの発信を継続して行います。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報が含まれる記録物を管理し、職員にも勤務外での職務内容を他言しないよう、情報漏洩のないよう細心の注意を払っています。	①40名、②1名、③0名、④6名 ・これまで問題を感じたことはない。	今後も継続して行います。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを作成し、職員への周知を図っています。保護者様へは面談の際やお便り、連絡帳などでお知らせしています。	①34名、②4名、③1名、④7名 ・夏場、玄関が網戸になっている時があった。少しセキュリティ面が気になる。	玄関から廊下に入る扉に施錠箇所があり、そちらを施錠しています。やはり防犯面からも、今後網戸の状態をなくします。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	防災をテーマに療育に取り入れていました。避難訓練は集団活動時に実施しています。救命処置(AED)の研修に参加し、災害発生時の避難方法や避難経路について職員間で話し合っています。	①20名、②4名、③1名、④21名	今後も継続して行います。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	社内で虐待防止の研修を行っています。		今後も継続して行います。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在該当するお子様がいらっしゃいません。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	事業所での食物の提供はありませんが、契約時に保護者様にアレルギーについて確認し、用具や教材から該当のアレルギー物質を排除しています。		今後も継続して行います。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	些細な事でもヒヤリハットを作成し、職員全員に回覧し事故再発防止に繋げています。		今後も継続して行います。